

「相手の『状況』『背景』に視点を向けようとする事」

仕事でかかわる人、家族、友人、子どもたちなど、かかわる相手に対して「なぜ、伝えたいことを受け止めてくれないのだろう」「なぜそのような捉えや解釈をするのだろう」と、うまく分かり合えないことやずれを感じることはありませんか。



相手に仕事を依頼したり、話題を振ったりした際、期待する反応が返ってこない、「なぜだろう」と感じ、不満や不安につながる可能性があります。



そんなときは、相手の「状況」や「背景」に視点を向けようとしてみませんか。そうすることで、相手に対して見えるものが変わり、相手に対する思い・かかわりが変わります。

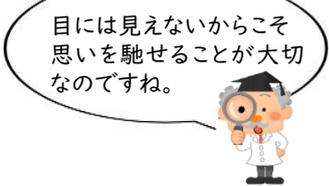
今号では「相手の『状況』『背景』に視点を向けようとする事」についてお伝えします。

〈うまく分かり合えない、ずれを感じる時に、相手の「状況」や「背景」に視点を向けようとしてみると・・・〉



分かり合えない・ずれの理由として、相手の「状況」や「背景」を想像することで「なぜ伝わらないのか、分かってくれないのか」ではなく、「相手に伝わりやすい伝え方ではなかったかもしれない」、「そうせざるを得ない状況だったのかもしれない」と、考えられるようになるのではないのでしょうか。

目には見えないから、相手の「状況」や「背景」をすべて知ることは難しいです。だからこそ、相手の「状況」や「背景」に視点を向けよう、相手を知ろうとすることが大切になります。



また、自分の「状況」や「背景」も相手には見えません。「言わなくても分かってくれるだろう」ではなく、伝えたいこと、知っておいてほしいことは意識的に言葉にする、ということも大切になると思います。

これらのちょっとした心がけが、向き合う相手とのより良い関係性の構築、良い取組につながると思います。

早いもので、年末です。今年度もいよいよ終盤にさしかかりました。ここまでの頑張りで、取組が軌道に乗ったり、成果が見られたりする頃でもあります。そんなときは、「できるはず」「分かるはず」など、相手に求めるものも大きくなりやすいです。だからこそちょっと立ち止まって視点を切り替えて考えてみませんか。

2学期、大変おつかれさまでした。期間も長く、行事も多かった2学期、それぞれに疲れがたまる頃だと思います。ここから年末年始の慌ただしさも加わるかもしれませんが、ぜひ良いお年をお迎えください。

